

【別添1】東名阪道 暫定3車線運用開始後1ヶ月の交通状況(速報)

○亀山JCT～四日市IC間において、昨年比で交通量は1%増加しましたが、渋滞回数は約2割、渋滞時間は約3割減少しました。

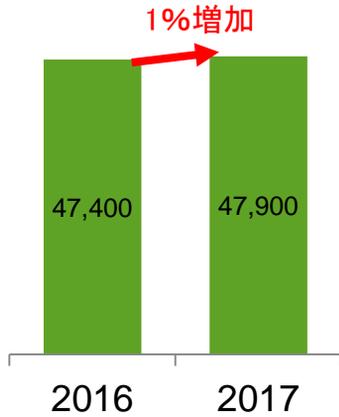
交通量 : 1%増加 (47,400台/日 ⇒ 47,900台/日)

渋滞 : 渋滞回数が約2割減少(108回 ⇒ 82回)、渋滞時間が約3割減少(333時間 ⇒ 224時間)

■3車線(暫定)運用開始後1ヶ月の交通量・渋滞状況

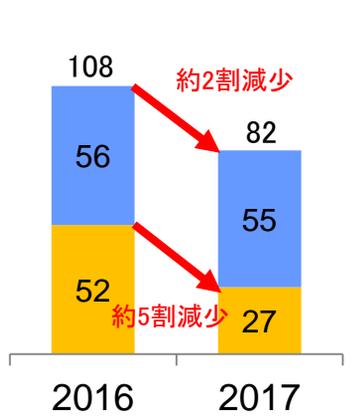
交通量

(台/日) (亀山JCT～四日市IC)



渋滞回数

(回) (亀山JCT～四日市IC)



延べ渋滞時間

(時間) (亀山JCT～四日市IC)



集計期間

2016: 2016.7.15(金)～2016.8.14(日)

2017: 2017.7.14(金)～2017.8.13(日)

■ 運用区間を除く区間 (Blue)
■ 運用区間 (Yellow)

(注) 渋滞: 速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分継続した状況

■3車線(暫定)運用の概要

対策内容	運用区間
3車線(暫定)運用	(上り線) 鈴鹿IC～四日市IC間の約8km

※3車線(暫定)運用とは

現在の道路幅を広げず、車線幅や路肩幅を狭めて、暫定的に2車線から3車線に変更し運用しているものです。

